

スリランカの外交政策からみた BRI 構想と FOIP 構想に関する研究

背景

BRI 構想 (The Belt and Road Initiative) を背景に、中国がスリランカをはじめインド洋沿岸国での港湾開発を進めている。これを受け、米国は従来の「太平洋政策」を「インド太平洋戦略」へと拡大させ、FOIP (Free and Open Indo-Pacific Strategy) を対中包囲網の枠組みとして構築しようとしている。そうしたなか、地政学視点からは、米中対立の激化を背景に、「スリランカ」が今後のインド洋秩序を占うキーワードとして注目されている。



本研究の目的・内容

本研究の目的は、次の2点。

第1に、中国主導の「一帯一路」構想 (BRI) のもとにあって、自国の利益を損なうことなく、対中関係と対印関係の管理と調整を試みるスリランカ側の政策の実態を解明すること。

第2に、それを軸に、中国のBRI 構想と日米豪印4か国主導の「自由で開かれたインド太平洋」(FOIP) 構想との関係を中心に、スリランカ国内世論の変化とスリランカの「全方位」外交について詳らかにすること。

上記に向けた研究を遂行する予備研究として、本学助成を得て2021年度において、(i)日本での予備調査、(ii)スリランカでの予備研究等を実施。

研究活動報告

日本での予備調査

関連の文献調査を実施。スリランカ政府の外交活動・外交文書及び両構想の外交活動・外交文書などの情報収集。

スリランカでの予備調査

ペラデニア大学との共同研究に基づき、現地でのヒアリング調査を実施。

学術論文・研究報告

① 2022年度日本国際協力機構 (JICA) 主催の国際セミナーにゲスト講師として参加。

講演会のテーマ: Japan's Modernization Studies: Rise and Fall of the Party Politics in Japan-Implications for Sri Lanka Today- (2022年2月9日)

② Japan-Sri Lanka relations in the era of rising China: An overview of Japan's evolution in the Indo-pacific region, The University of Tokyo Sri Lanka Office (UTSL)、2022年12月発行予定

スリランカを巡る相関関係

